

新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究
分担研究報告書

被扶養者における健診受診に関する意識調査の検討

研究分担者：高谷典秀 医療法人社団同友会 予防医学研究所 所長
研究分担者：福田 洋 順天堂大学・大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座・特任教授
研究協力者：関塚宏光 富士通株式会社 健康推進本部 富士通クリニック
研究協力者：東 泰弘 富士通株式会社 健康事業推進部 統括部長

研究要旨

コロナ禍における新しい生活様式においては、被扶養者が健診受診のための阻害要因が変容していることが考えられる。このため、被扶養者における受診率向上に必要な情報を新たに得ることが重要であり、今回保険者と共同でアンケート調査を行うことを検討した。

その結果、富士通健康保険組合の被扶養者に対して実施することで調整が可能となり、今後実施に向けてさらなる準備を行っていくこととなった。

A. 研究目的

健康保険組合における被扶養者の健診受診率向上に資する課題を抽出するために、アンケート調査に基づいた分析方法を検討する。

B. 研究方法

1. 対象者

本研究に理解を得られ、被扶養者に対するアンケート調査が効率的に可能な保険者を選定し、アンケートの方法等について検討を行う。

2. 倫理的配慮

アンケート調査の実施にあたり、関連機関の人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得る予定である。

対象者に対しては、調査の概要、調査への回答は任意であること、参加に同意をしたあと、同意を撤回することは可能でありその際のデータは消去されること、個人情報の取り扱い、研究成果の公開方法についての説明を加え同意を得る。

C. 結果

被扶養者を対象にアンケート調査を実施する保険者として、富士通健康保険組合の協力を得ることが出来た。同健保組合で既に被保険者との連携に活用しているスマートフォンアプリである LINE を用い、健康診断受診に係る質問項目に回答していただく形式で回答率の向上を目指すこととなった。

D. 考察および結論

新しい生活様式においては被扶養者も健診機会を逸するリスクがある。今後の受診率向上については、被扶養者の現状やニーズを調査することで、新しい対策につなげることが期待される。

E. 政策提言および実務活動

本年度はない

F. 研究発表（本研究に関わるもの）

1. 学会発表
なし
2. その他

- なし
- G. 知的財産権の出願・登録状況**
- | | | | |
|---------|----|-----------|----|
| 1. 特許取得 | なし | 2. 実用新案登録 | なし |
| なし | | 3. その他 | なし |